

2024年3月31日

## 公益財団法人日本城郭協会 2023年度事業報告書

### 1. 「会員増強計画」一会員増強への取り組み強化・推進一

協会の事業や活動を支える会員の増強は協会運営の最重要活動として、2022年度の会員数の10%増員を目標に会員増強に取り組んだ。結果、一般会員974名(105名増)、法人会員18社(7社増)、城郭会員38団体(9団体増)となり、前年度比11%増となった。

会員満足度の向上を目的に、一般会員向けに小牧山城・白河小峰城・福山城・江戸城(3回)にて会員交流会を企画・開催した。また、親子名城見学会にて会員向けに先行受付を行い、熊本城・金沢城・掛川城・鉢形城・和歌山城にて18名の会員参加となった。法人会員・城郭会員向けには会報への広告枠の提供や、協会HPからのリンクの提供、お城EXPOにおける割引出展料設定、協会ブースにおけるPR機会の提供や、会員交流会・親子名城見学会にて優先的に訪問するなどの連携強化につとめた。

### 2. 「日本城郭協会大賞」の選定・表彰

城郭文化のさらなる振興のための新たな事業として創設した、『第2回日本城郭協会大賞』を2023年4月6日に発表した。日本城郭協会大賞は「久野城址保存会(静岡県袋井市)」城郭文化振興賞は「可児市山城連絡協議会(岐阜県可児市)」城郭文化特別賞は「香川元太郎氏」と「島充氏」に決定した。また、今回より特筆すべき成果を挙げた自治体等の城郭管理者を別枠で顕彰することとなり、「福島県白河市」と「福山城」に調査・整備・活用賞を授与することとなり、6月15日日本城郭協会総会後の席で表彰した。また、受賞者は年末の「お城EXPO2023」にて記念講演等を行った。第3回の選考作業は年末から実施、2024年3月13日の最終審査委員会で日本城郭協会大賞に富山県の「増山城跡解説ボランティア曲輪の会」、城郭文化振興賞に兵庫県の「山名氏城跡保存会」、城郭文化特別賞に「余湖浩一氏」、調査・整備・活用賞に「飛騨市教育委員会」を選んだ。また、坂本城遺構保存に係る努力を表す為に「大津市」と「(株)三王不動産流通」を審査員特別表彰することとした。

### 3. 「日本100名城・続日本100名城スタンプラリー」の運営及びPR強化

「日本100名城・続日本100名城スタンプラリー」は、各城郭と緊密に連携しながら推進した。また、「信長の野望」とのコラボや「出張!お城EXPO」等催事・SNSなどを通じて「日本100名城・続日本100名城スタンプラリー」のPRを実施し、スタンプラリー参加者のさらなる増加を図った。開始以来の2022年度末現在の達成者は100名城6,020名、続100名城1,634名である。

### 4. 「城の自由研究コンテスト」「親子名城見学会」の継続開催

「城の自由研究コンテスト」は小学生の部と中学生の部に分けて作品を募集した。2023年度は211作品の応募があり、それぞれ10作品の優秀作を表彰した。表彰式は2022年に引き続き「お城EXPO2023」の会場にて公開で開催した。また、今年度から最優秀賞受賞者と審査員によるトークショーを開催し、好評を博した。

「親子名城見学会」は、熊本城・金沢城・掛川城・鉢形城・和歌山城で合計104名の参加となった。

### 5. 「お城EXPO2023」の開催

2023年度から4者(当協会・ムラヤマ・東北新社・パシフィコ横浜)による共同主催として開催し

た。過去最高の出展者を集め、前夜祭を含めて3日間合計18,088人の来場者となった。

当協会として協会ブースを出展し、協会の活動案内と会員募集を行った。また、協会主催のセミナーを7講演開講し、新任学術委員の講演や日本城郭協会大賞受賞記念講演等を行った。EXPO内で城の自由研究コンテスト優秀作品展の展示と表彰式を開催した。併せて「お城 EXPO フォトコンテスト」を当協会主催で開催し、360点の作品の応募があり、優秀作品の表彰を行った。

また、姫路市・愛知県・滋賀県など各地で開催される「出張!お城 EXPO」にも積極的に参画し、日本100名城・続日本100名城のPRと地方の城郭愛好家への当協会のPRと入会促進を行った。

## 6. 「日本城郭検定」の開催

2023年度は年2回開催を行い、受験者数は合計2,541人だった。

## 7. 広報活動強化

当協会の公益事業活動を広く社会に周知させるとともに、会員への情報サービス機能や新会員加入促進を目的に、会報「城郭ニュース」の発行・配布を継続実施した。紙面の刷新を行い、新企画として「日本列島城巡り」をスタート。学術委員を中心に各地の専門家による日本100名城・続日本100名城以外の城の紹介を行うこととした。

ホームページ・SNSについても、会員・その他の城郭愛好家向けに、各城郭からの提供された情報などを適時掲載・リツイートを行った。

城ブームの興隆に寄与すべく、協会公認サイト「城びと」との連携や、「日本100名城カード」の企画・発行に伴う監修、各自治体等からの講師派遣対応などを行った。

## 8. 出版活動

「城カード」については計23城27種の新規発行を行った。また、「日本城郭検定過去問題集改訂新版」を(株)ワンパブリッシングより発行した他、(株)ディアゴスティーニ・ジャパンによる隔週刊「決定版日本の名城」シリーズの監修を行った。

## 9. 「ヨーロッパ100名城」のPR・事業化推進

「ヨーロッパ100名城」について、WEB上での展開を視野に入れて検討に着手した。尚、イタリア大使館の協力を得てイタリアの城郭のパネルを制作し、お城 EXPO で展示を行った。

## 10. 「学術委員会」の活動強化及び「学術委員」の拡充

学術委員会の活動については、マスコミ等からの問い合わせ対応を行う事務局からの相談対応や会報への寄稿、「お城 EXPO」の講演、「日本城郭協会大賞」の審査員、城郭見学会の際の説明担当など協会が主催・参画する催事への参加などを行った。また、新任学術委員として3名を招聘した。

## 11. 「当協会資産」の整理・活用

当協会の資産である井上宗和氏の研究資料等の整理を継続実施した。